

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : Paraformaldehyde
製品番号 : P193265 (メーカー略号: TRC)
構成品名 : Paraformaldehyde
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体:区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(経口):区分 4

急性毒性(吸入):区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 2A

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(呼吸器)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

水生環境有害性 長期(慢性):区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

可燃性固体

飲み込むと有害

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器の障害(呼吸器)

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

貯蔵

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい固体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質

慣用名又は別名：ポリ(オキシメチレン)

成分名	含有量(%)	CAS RN®	化審法番号
パラホルムアルデヒド	< 100	30525-89-4	9-1941

※含有量(%)はSDS作成時点の情報に基づいております。

詳細な情報につきましては対応するロットのCoAや試験成績書等をご覧ください。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当

化管法「第1種指定化学物質」該当

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防じんマスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

医師に暴露物質名、刺激性、毒性、変異原性を有する製品であること、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、炭酸ガス、泡、粉末消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

区域から退避させること。

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

区域より退避させる。

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。粉じんが飛散しないようにする。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉じんを発生させないように掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

常温で保存すること。湿気を避けること。酸化性物質、混触危険物質、火気から離して保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

設備対策

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防じんマスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性)

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：白色

臭い：刺激臭

融点/凝固点：(decomposes) 120 – 180°C

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：7.0 vol %

爆発上限：73.0 vol %

引火点：(パラホルムアルデヒド)(C.C.) 71°C

自然発火点：(パラホルムアルデヒド)300°C

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：溶けにくい

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：< 0.2 kPa (25°C)

密度及び/又は相対密度：1.5

相対ガス密度(空気=1)：1.03

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

粉末又は顆粒状で空気と混合すると粉じん爆発の可能性がある。

酸化剤との混触により発熱、発火することがある。

避けるべき条件

直射日光、高温、火気、静電気

混触危険物質

酸、強塩基、酸化性物質

危険有害な分解生成物
炭素酸化物、ホルムアルデヒド

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

rat LD50=800mg/kg (Canada CMP, 2019)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

rabbit LD50=10000mg/kg (Canada CMP, 2019)

急性毒性(吸入)

[製品]

区分 4, 吸入すると有害

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

dust: rat LC50=1.07mg/L/4hr (Canada CMP, 2019)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

区分 2, 皮膚刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

皮膚刺激性物質 (Canada CMP, 2019)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2A, 強い眼刺激

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

眼刺激性物質 (Canada CMP, 2019)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

呼吸器 (AICIS IMAP, 2019)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

区分 3, 水生生物に有害

区分 3, 長期継続的影響によって水生生物に有害

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

魚類 (ブルーギル) LC50=39.1mg/L/96hr (EPA AQUIRE 2018 et al.)

水溶解度

溶けにくい (ICSC, 2006)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 2213

品名(国連輸送名) : パラホルムアルデヒド

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 4.1

容器等級 : III

指針番号: 133

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法の規定に従う

船舶安全法 可燃性物質類 可燃性物質 分類 4 区分 4.1

航空法 可燃性物質類 可燃性物質 分類 4 区分 4.1

15. 適用法令**毒物及び劇物取締法**

劇物(令第2条) 該当(法令番号 97)

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特定第2類 該当

名称等を表示すべき危険/有害物 該当(別表第9の548)

名称等を通知すべき危険/有害物 該当(別表第9の548)

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達] 該当

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質 パラホルムアルデヒド(100%)[該当]

消防法 : 非該当

化審法 : 非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版（2023年）
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。